

「ラブアース・クリーンアップ2022」海岸清掃活動 参加報告 LOVE EARTH CLEAN UP 2022

6月12日(日)、「ラブアース・クリーンアップ2022」海岸清掃活動に参加しましたので報告します。

ラブアース・クリーンアップとは、1992年5月に福岡市で開催された「ローマ・クラブ福岡会議 in 九州」を契機に、「地球環境と地域行動」の実践活動として、市民・企業・行政が協力し、福岡市から始まった地域環境美化活動です。九州・沖縄・山口各県にとどまらず、遠く石川県や北海道、更には韓国釜山広域市にまで行動の輪が広がっており、九州・山口地区全体のみで例年20万人を越す方々が参加されています。2020年、2021年は新型コロナウイルス感染症の影響による中止のため今回は3年ぶりの実施となりました。

住友二水会(福岡在住の住友連系50社がメンバー、当社は会長会社)も社会貢献活動の一環として2004年から本行事に参加しており、環境に対する意識の高さを反映して毎年多数の方にご参加いただいています。17年目となる今年は30社から465名の参加となりました。感染拡大防止対策のため例年と異なり開会式・閉会式を行わず、前半と後半の2グループに分けて実施いたしました。

住友二水会の清掃場所である「国営 海の中道海浜公園」の海岸とクロマツの織りなす風景は、日本の白砂青松100選に選ばれています。梅雨入りしたばかりで天候が心配されましたが、当日は晴天に恵まれ、玄海灘の強い潮風の中、子供連れや会社の仲間と、熱心に清掃する姿が、海岸のあちらこちらで見受けられました。

昨今、プラスチックの海洋汚染が大きな環境問題となっていますが、海岸にはペットボトルや発泡スチロール、プラスチック片、船からの漂着物などのゴミが多数あり、2グループに分かれて約2時間弱の清掃時間で、住友二水会として回収袋285個分のゴミの他、袋に入りきれない大きなゴミも多数回収されました。自然分解されないゴミへの対策の重要性や、環境保全活動の意義・必要性を感じる一日となりました。

当社は引き続き、CSR活動の一環として本活動に積極的に参加していきたいと思っております。

